

令和3年度 定期環境内部監査総括報告書

令和4年2月14日

環境内部監査責任者 石川 知明

1. 内部監査目的及び監査内容

ISO14001 要求事項と三重大学環境マネジメントの計画の適合、適切に実施、維持されているかを確認する。

環境側面の特定・有効性、環境方針及び環境目的・目標の成果、コミュニケーション実績、緊急事態想定内容

令和3年度はコロナ禍の影響で対面の監査を自粛し、令和2年に引き続き遠隔監査（書面監査 ※必要な場合は電子メール、電話で確認）の仕組みで実施した。

2. 内部査実施期間 監査ユニット数

令和3年9月7日（水）から令和4年2月8日（火） 13部局14ユニットについて実施

3. 監査実施ユニット・監査結果（適合／不適合）一覧 ※ すべてのユニットにおいて、不適合はありません。

令和3年度 定期環境内部監査結果

部局等名	環境内部監査対象 ユニット名	実施 完了日	内部監査結果			
			法令規制 要求事項	ISO14001 要求事項	EMSの 維持	EMSの 効果
人文学部	アメリカ研究	9月14日	適合	適合	適合	適合
教育学部	社会教育講座	9月17日	適合	適合	適合	適合
医学部	基礎看護学講座	9月7日	適合	適合	適合	適合
工学部	学務担当	10月12日	適合	適合	適合	適合
生物資源学部	農業土木学講座	令和4年2月8日	適合	適合	適合	適合
企画総務部	企画戦略チーム	10月12日	適合	適合	適合	適合
財務部	財務チーム	9月10日	適合	適合	適合	適合
学務部	キャリア支援チーム	9月23日	適合	適合	適合	適合
施設部	施設管理チーム	令和4年2月8日	適合	適合	適合	適合
	施設環境チーム		適合	適合	適合	適合
国際・情報部	情報・図書館チーム情報基盤室	9月15日	適合	適合	適合	適合
研究・地域連携部	研究推進チーム	9月10日	適合	適合	適合	適合
国際環境教育研究センター	国際環境教育研究センター	9月16日	適合	適合	適合	適合
環境 ISO 学生委員会	環境 ISO 学生委員会	9月17日	適合	適合	適合	適合

4. 内部監査結果まとめ

<p>・ JISQ14001 及び関連する法令規制要求事項に適合しているか（EMS 文書の適合）</p> <p>監査結果 監査した全てのユニットで、規格および法律の順守において適合していることを確認した。</p>
<p>・ ISO14001 要求事項に適合しているか（EMS 文書の適合）</p> <p>監査結果 要求事項にすべて適合したものであることを確認した。</p>
<p>・ EMS が有効に実施され維持されているか（EMS の記録）</p> <p>監査結果 監査したユニットにおいて、目的に対して EMS が有効に実施され、成果を上げていることを確認した。</p>

・EMSが期待したように実施されているか

監査結果 コロナ禍の状況においても、適切な取り組みを確認できた。

5. 監査所見まとめ

○**観察事項および観察事項に該当するコメント**：

- チェックシートの記載内容を確認したところ、著しい環境側面を認識されていなかったため、電話によるヒアリングを行い、紙の使用枚数が多いことが「著しい環境側面(特に環境に影響を与える活動)」と認識していただけた。今後の環境に対する認識を期待する。(学務部)

○**有効な活動** 〈Good Point〉：

- 紙の使用が多い部局であることを認識し、資料のPDF化やICTの活用などで積極的にペーパーレスに努めていることが評価できる。また、3R活動や省エネなどに取り組んでいることも確認できた。(人文学部)
- 会議は、継続してペーパーレスで実施されており、評価に値する。また、紙資料が必要な場合は最小限にする努力が見られる。社会科講座の自然地理分野の講義においては、自然界で採取した水の成分分析も行われており、環境への取り組みも確認できた。(教育学部)
- 定例会議の完全ペーパーレス化、環境に配慮した物品等の購入、使用しなくなった物品のリサイクルなど、期待したように実施されていることを確認した。(医学部)
- 紙の使用が多いとの回答に関して「オンラインによる会議が定着してきた」、「会議の資料が、事前にデータを共有フォルダやownCloudを利用しペーパーレスで実施している」の活動実績の記載もあるが、会議以外の紙の使用に関して削減の施策検討も期待する。(工学部)
- 全会議のペーパーレス化の実施により、大幅な紙の消費量の削減を実施している。研究に関して、廃棄物の再利用化や地域バイオマスを活用する研究など、持続的な開発や地域貢献につながる研究を行っている。教育に関して環境教育に関わる講義として、持続可能な農業生産、フードロス、農業用水の適正な利用方法などに関する小学生を対象とした環境教育教材を作る講義を行っている。(生物資源学部)
- 紙の使用枚数が多い部局と認識されており、紙媒体が必要な場合は最小限にする努力が見られた。ノーマイカーデー実施一覧表・温度湿度計を活用し、環境への取り組みも確認できた。(企画総務部)
- 部署の全構成員に、エコキャンパスカードを配布するとともに、メール等により環境活動の周知を図り、環境意識も高く、3R活動の取り組みやペーパーレス及びクールビズ等の省エネの取り組みがされており、大学が期待する成果を確認した。ノーマイカーデーの実施やリサイクルシステムの活用は素晴らしい。また、ペーパーレスへの取り組みにおいて、業務の正確な遂行上、止むを得ず紙媒体を使用する場合は、両面印刷機能等の活用により省エネや環境を考慮した取り組みは素晴らしい。(財務部)
- コロナ禍の影響もあるが、昨年度から企業説明会等のパンフレットを試行的にWeb版とし、ペーパーレス化を継続・維持している。紙の使用を最小限にする努力がみられる。(学務部)
- ハード面での機器の高効率化と再生可能エネルギーを活用した試みを進めている。積極的に省エネ設備・技術を導入し、エネルギーマネジメントを行うことで最適な創エネ・蓄エネ・省エネを実現している。(施設部)
- 情報機器の管理において、一括管理を行い、さらにメモリー等のリサイクル資源を活用する等の効率的な業務運営は素晴らしい。(国際・情報部)

- ヒアリングにより、週に一回程度の打ち合わせにおいて、課長よりチーム内の環境活動への取り組みが情報共有がなされていることを確認した。チーム内のトップマネジメントが働いている点を良い点と判断する。(研究・地域連携部)
- SDGs-ES 部門の設立、HP のリニューアルに伴う情報発信の強化等、三重大学の環境関連の中核を担う機構としての重要な役割を果たしている。(国際環境教育研究センター)
- 環境 ISO 学生委員会の活動だけではなく三重大学全体の環境活動においても、普及啓発を行っていることが確認できた (HP と環境・SDGs 報告書にも書かれている、イオン津南でのイベント等)。また、問題意識や積極的な意見を持って活動している点は非常に素晴らしい。(環境 ISO 学生委員会)

○その他のコメント：

- 9月28日に実施されたサーベイランス審査(サイトツアー)において、工学部の「産業廃棄物置場に、蛍光灯が露天(雨に濡れる)の状態で保管してありました」という観察事項が出たが、現状の蛍光管の保管方法において、法順守に問題はないことを確認した(内部監査チームメンバーが現地確認)。(工学部)
- 環境・情報科学館ホールおよび居室内の温湿度管理の不備に関して、早急な対策が望まれる。(国際環境教育研究センター)